



ふれあいネットワーク

社会福祉法人 豊後大野市社会福祉協議会

〒879-7153 豊後大野市三重町玉田 1128 番地 豊後大野市三重農村環境改善センター内
TEL 0974-22-6677 FAX 0974-22-3118

福祉体験教室

in 犬飼小学校



高齢者疑似体験



みんなが安心して幸せに暮らしていくためにはなにができるだろう？



車いす体験



児童の皆さんから感想をいただきました。心温まるメッセージをありがとうございました♪

高齢者や体の不自由な人の気持ちがわかりました。



困っている人を見つけたら助けてあげたいです。

段差などがある時はゆっくり持ち上げないといけないことがわかりました。

第18回大分県地域福祉推進大会

12月20日（水）別府市ビーコンプラザにて、第18回大分県地域福祉推進大会が開催されました。大会では、福祉関係功労者の表彰が行われました。豊後大野市の被表彰者は次のとおりです。（敬称略）



◆ 大分県知事表彰

【社会福祉施設等職員】

田下むつみ・井上智恵
山村裕美・伊東美保子
米田真里子・谷口千代美

【ホームヘルパー】

佐藤イツエ

【社会福祉団体】

佐藤泰子・麻生眞由美
阿南万喜子
【ボランティア】
多田サチ

◆ 大分県知事賞

【優秀老人クラブ賞】

宮迫八幡クラブ

【老人クラブ指導者功労賞】

吉藤 孝

◆ 大分県社会福祉協議会会長表彰

【社会福祉事業関係功労者】

社会福祉施設職員

大津留純子・麻生須奈光・那須みゆき
後藤直樹・吉田清香・塩月元美
玉田なおみ・吉野 亮・藤澤弘子
社会福祉協議会役員
安藤栄二

◆ 大分県共同募金会会長感謝状

【篤志寄附者・団体】

社会福祉協議会役員
感謝状

坂本由美子・三重町仏教会

◆ 大分県老人クラブ連合会会長表彰

【老人クラブ功労者】

甲斐正巳・城下健一・渡部勝子

受賞された皆様、おめでとうございます





赤い羽根共同募金



歳末たすけあい募金運動

ご協力ありがとうございました!!

令和5年度募金報告 (1月25日現在)

赤い羽根共同募金 3,700,926 円

戸別募金	3,129,752 円	市内の各家庭から集まった募金です
街頭募金	54,224 円	街頭での呼びかけに集まった募金です
職域募金	368,212 円	バッチ等の購入による売り上げの一部です
グルメ募金	125,508 円	指定商品の購入による売り上げの一部です
その他の募金	23,230 円	その他募金箱等、寄付された募金です



歳末たすけあい募金 1,928,124 円

戸別募金	1,718,330 円	市内の各家庭から集まった募金です
街頭募金	209,793 円	街頭での呼びかけに集まった募金です
その他の募金	1 円	その他募金箱等、寄付された募金です

助成を受けた団体から届いた ~ありがとうメッセージ~

犬飼地区社会福祉協議会~元気ハツラツ交流会(交流会)~

共同募金の助成金をいただき、4年ぶりに交流会を開催することができました。コロナ禍で外出する機会が減った高齢者の方も、いぬかいこども園の年長組さんによる太鼓やソーラン節、ふれあい歌遊びや朝地町の板井迫子ども神楽を鑑賞し「楽しかった♪元気をもらった!」と大変喜んでいただきました。私たちも参加者の皆さまの笑い声や笑顔に元気をいただきました。



ご協力ありがとうございます

三重町仏教会から



双葉保育園・扇田保育園の園児から



ももえだこども園の園児から





わたしの町の 民生児童委員さん ～朝地町～

朝地地区民生児童委員は、民生児童委員12名、主任児童委員2名の14名です。誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすための取り組みとして見守り、つなぎ役として活動をしています。



あいさつ運動
元気にいってらっしゃい!



三者合同会議



担当地区	氏名	担当地区	氏名
近地・朝倉	志賀 智美	志賀・宮生東・宮生中央・宮生浦	伊東 潤一
朝地	和田 敬子	綿田・北平	板倉 光夫
坪泉	和田 正	中熊・臼木・栗栖・田夫時	柿原 敦子
板井迫	後藤 美恵子	梨原・志屋・温見・小川野・ 鳥屋・やすらぎ団地	小野 官一
田村・池在・瀬口・舘	森 加代子	主任児童委員 (町内全域)	後藤 康子
揚・町・和田	後藤 悦男		阿南 美恵子
平井・樋口・堀家	羽田野 千代子		
上尾塚・中尾塚・下尾塚・小野	菅田 英志		



★ボランティア保険の切替えをお忘れなく

- ☆ 基本プラン 350円
- ☆ 天災・地震補償プラン 500円

「ボランティア活動保険」は ボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償を補償します。
令和5年度のご加入契約はすべて、令和6年3月31日で補償期間が終了いたします。令和6年度の保険加入は現在受付中ですので、最寄りの社会福祉協議会各支部でお手続き下さい。(詳細はお手続きの際にお尋ねください)

【お問合せ先】 豊後大野市社会福祉協議会

<本部>	☎ 0974-22-6677	<大野支部>	☎ 0974-34-2071
<清川支部>	☎ 0974-24-6770	<千歳支部>	☎ 0974-37-3110
<緒方支部>	☎ 0974-42-2349	<犬飼支部>	☎ 097-578-1737
<朝地支部>	☎ 0974-72-1002		

善意のこころ ありがとうございます

寄付金等 (12/1 ~ 1/31 受付まで)

【香典返し寄付】

【三重町】

稲葉 悦雄 様・近藤 昭彦 様・小野 竜司 様
 小野 傳治 様・後藤 豊重 様・都 浩文 様
 後藤 和人 様・波津久 基幸 様・赤嶺 世紀子 様
 穴見 光子 様・後藤 雄二 様・新宮 眞二 様
 神田 悦男 様・村上 美佐子 様・赤嶺 茂治 様
 北代 肇 様

【清川町】

佐藤 俊博 様・衛藤 三代子 様・衛藤 孝一 様
 嘉藤 憲道 様

【緒方町】

田中 美恵子 様・廣瀬 亮 様・白石 剛 様
 佐藤 史紀 様・佐々木 直子 様・浜嶋 弘文 様
 永野 フミ子 様・植田 益三 様

【朝地町】

工藤 工 様・佐藤 寿八郎 様・内田 耕平 様
 和田 多恵 様・衛藤 恵子 様

【大野町】

釘宮 慎太郎 様・井田 ハツヨ 様・後藤 ツユ子 様
 堀 友博 様

【千歳町】

廣瀬 雅彦 様・仙波 美由記 様・武藤 成實 様
 後藤 親静 様

【犬飼町】

佐用 智也 様・樋口 春夫 様・後藤 嘉玄 様
 北江 京子 様・後藤 昭信 様・足立 輝 様
 足立 照光 様・足立 秀司 様

【物品寄付】

後藤米穀店 様 (犬飼町)
 大の葬祭 様



(大の葬祭様より)

会費実績報告 【12/1 ~ 1/31 受付分】

- 賛助会費 <<緒方町>> 緒方地区民生児童委員協議会 様 ❀ ご協力ありがとうございます ❀
- 法人会費 <<三重町>> 扇田保育園 様
 <<三重町>> 宍河崎自動車整備工場 様

「ぶんごる・つながる♪」

スマホ教室



市内で少しずつ
 広がっています♪

聞きたいこと・分からないことなど、個別相談OKです。

お友だちなどグループで「5名以上」
 集まれば、出張開催いたします。
 参加無料です。スマホの貸出もあります。

初めての方、大歓迎です♪

住民 スマホサポーターさんを募集しています!!



スマホ教室をお手伝いしてくださる方を募集しています。

ラインが「ちょっと使えるくらい」で大丈夫です (^^)

保険あり (社協が負担)、謝礼あり (交通費含む)。

【申込方法】社協各支部へ電話 または 二次元コードの読取

サポーター申し込み



出張

認知症サポーター養成講座を受講しませんか！

- ◎ 対象：豊後大野市の住民、学校、企業、認知症に興味のある方等
※認知症サポーターは、何か特別なことをする人ではありません。
病気を理解し偏見を持たず、認知症の人や家族を支える「**応援者**」です。
- ◎ 内容：認知症の理解、接し方、サポーターとしてできること
- ◎ 日時：平日9:00～16:00の間（60～90分間）
- ◎ 詳しくは豊後大野市地域包括支援センター（0974-22-0505）まで

● 認知症サポーター養成講座の受講者状況 ●



令和4年度までに **7,900名** のサポーターが誕生!!
令和5年度は **502名** の方に受講いただいています!
(R6.1.22 現在)



～介護や認知症の他にも、生活の困りごとなどお気軽にご相談ください～

〈地域包括きよかわ〉 080-5217-6432	〈地域包括おおの〉 090-7582-4484
〈地域包括おがた〉 080-8498-7115	〈地域包括ちとせ〉 080-8447-2313
〈地域包括あさじ〉 090-4161-0284	〈地域包括いぬかい〉 090-4159-9716
〈地域包括支援センター〉 0974-22-0505	(みえ地区は地域包括支援センターで担当します)

◆開設時間…平日8:30～17:15

※ 地域包括支援センターは豊後大野市の受託事業です

エッセイ 認知症家族のおもい

今日も上機嫌
～若年性認知症の夫とともに～(4)
著者 戸上京美

前回までのあらすじ
子どもが自立し、夫婦二人の生活が始まった。パチンコにのめり込み仕事もままならなくなった夫についての診断は、前頭側頭型認知症。当時五四歳。山あり谷ありな生活の中、自身に病が襲い掛かる。八時間に及ぶ手術で奇跡的に回復。今回いよいよ最終章。

これまで家事はすべて私がしていたが、仕事も忙しくなつたため夫にゴミ出しや掃除機がけを頼んだ。庭に小さな菜園を作ると、野菜づくりの上手な実家の母に話を聞いたり、苗を買いに一緒にお店めぐりをするようになった。デイサービスでも農作業や運送の仕事に精を出し、仕事をする喜びを嬉しそうに話してくれた。お小遣いで孫にジュースを買い、よるこぶ孫と微笑む夫。夫はパチンコに興味がなくなつたよう、病気がパチンコに依存させていたのかもしれない。

夫は認知症の当事者や家族などに自分の体験を話すピアサポート活動を始めた。自分の話を聞いて、デイサービスで仲間が増えていくことが嬉しかったよう。夫は次第に穏やかになり、二人で笑うことも増えていった。こんな穏やかな日がくるなんて夢にも思わなかった。私は特別な事はしていない。ただ、夫がやりたいことを出来る範囲で協力しただけだった。

発病から四年、あるテレビ局から夫を密着取材したいと依頼があった。当初夫は「名前も顔も全国に知られてしまう。自分は認知症だと言って歩くようなものだ」とためらっていた。一方で、もっと認知症のことを正しく知ってもらいたいとも話していた。私は「若年性認知症を正しく知ってもらおうチャンス。他の仲間のためにも、認知症になつても出来ることがまだまだあると言える人は他にいないと思うけど」と背中を押した。夫は取材を快く引き受けた。これがかきつけて地域の方や友人に自分の話をするようになり、地域や周囲に溶け込んでいった。

「おはよう」「夜何食べた？」「行ってきます」「ただいま」が毎日の会話。私たちは、今日一日を機嫌良く過ごすことを大事にしている。そしてお互いの価値観を尊重し、お互いのやりたいことを応援するだけ。春になり、夫が庭の畑を耕しはじめた。今年もスイカと思つて植えた苗からカボチャがなるかも。

お知らせ

好評につき、戸上京美さんのエッセイをホームページに掲載します（3月～期間限定）

豊後大野市社協 ふれあいネットワーク

検索